

経営比較分析表／団体全体（令和6年度決算）

香川県 香川県広域水道企業団

【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m^3 /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m^3)
法適用	工業用水道事業	150,000	中規模	1	46,408
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m^3 /日)	管理者の情報	
-	77.8	42	55,386	自治体職員	

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、⑤料金回収率はともに100%を超え、単年度収支は黒字であり、給水費用は給水収益で賄われている。
 ③流動比率は、類似団体平均値を下回っているものの、全国平均値を上回り、かつ100%を超え、1年以内に支払う債務に対する支払能力は十分に有している。
 ④企業債残高対給水収益比率は類似団体平均値を下回っている。
 ⑥給水原価は、6年度は類似団体平均値を上回った。
 ⑦施設利用率、⑧契約率はともに類似団体平均値を下回っている。

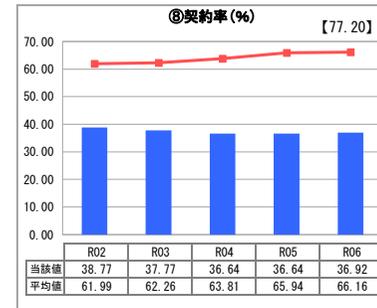
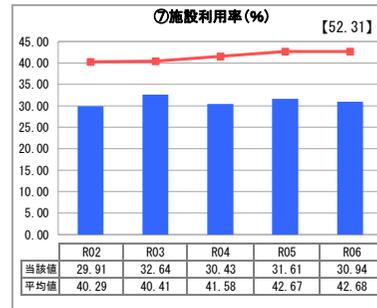
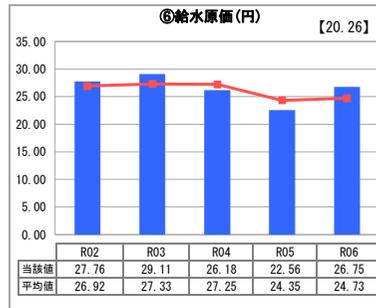
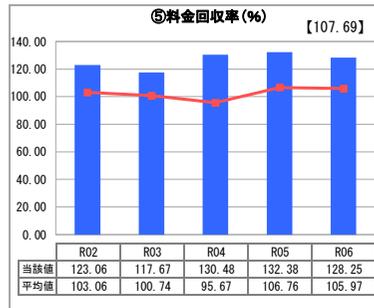
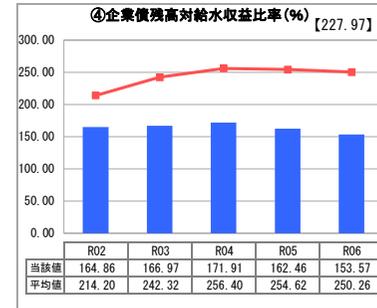
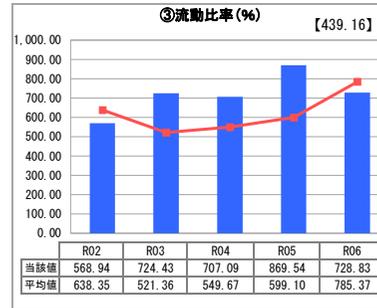
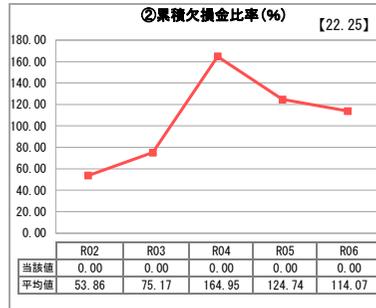
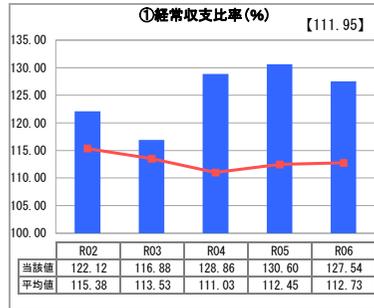
2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②管路経年率は類似団体平均値を上回り、資産の老朽化が伺えるが、管路等の更新を計画的に進めており、③管路更新率は類似団体平均値を上回った。

全体総括

令和6年度決算における経営指標からは、経営の健全性は確保されている一方、老朽化へのさらなる対応が必要であることが読みとれる。
 次年度以降も広域化のメリットを最大限に生かし、業務の効率化、危機管理対策、施設の統廃合及び更新・耐震化などを着実に実施するとともに、各種指標の推移についても留意しながら、引き続き経営の健全化に取り組む。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

